

広報



あいら

第233号

町の人口動態
(前年同月との比較)

S62.8.31現在	S61.8.31現在
36,486人	36,087人
17,242人	17,012人
19,244人	19,075人
12,649戸	12,419戸



すこやか人生

小川内 六左衛門 翁

道路問題など意見統出

6つの会場で対話集会



西野町長が就任して三回目の対話集会が、八月七日から十二日まで町内六つの会場で開催されました。

理解を深めてもらおうと始めた対話集会。どこの会場でも意見や要望等が活発に出されました。

今回の対話集会への出席者は、全会場あわせて百四十六人と悪天候のせいか前回に比べ多少減ったものの、前回を上回る百十三件の対話となりました。

各会場とも町三役をはじめ

全課長が出席し、町の現状等について西野町長があいさつした後、座長を選出して対話に入りました。

地域によって対話の内容も多少の変化はありましたが、

「企業及び高校誘致の問題」

これら町民の方々の生の声に対し、西野町長は「速やかに対応できるものは実施し、検討をする難しい問題については、今後幅広く意見を伺いたい」と答えました。

今後もこの対話集会が、單なる形式だけの報告会や意見、要望述べる場に終わることのないように、また、町政の現状を正しく知つてもらうためにも、良識ある多数の町民の方々が、このような機会をとらえて、明るい町づくりのために参加されることを期待するとともに、参加しやすい対話集会となるよう時期的な問題等も含めて検討を重ねたいと思います。

対話集会出席者			
会 場	男性 (人)	女性 (人)	計 (人)
姶良小学校体育館	16	1	17
協元地区公民館	23	5	28
中央公民館	14	5	19
山田地区公民館	33	2	35
三叉コミュニティセンター	16	1	17
帖佐地区公民館	21	9	30
合 計	123	23	146

農政に関する問題」「道路河川の問題」「地域（観光）開発の問題」など、本町の発展、浮揚への積極的な提言や意見、日常生活に直接に関係する質問や要望等が多く出されました。

くして自治意識は育たないこと…』さらに、「対話の中からこそまちづくりの気運は生まれてくること…」など、一方的な行政主導型の町政ではなく、「そこに住み、そこに生活する住民が、お互い手を取り合い心を合わせて、生きがいのある明るい町を築きあげることである」とする西野町長の政治理念の現れとして、大きな成果を得ることができました。

会場によつては、予定時間を大きく超過するほど対話に熱気を帯びたところもあり、好評のうちに終了しました。

今回の対話集会は、『対話を大きく超過するほど対話に熱気を帯びたところもあり、好評のうちに終了しました。

どうする北山中

第二回 校区審議会を開催

深刻な過疎に悩む北山・木津志地区では、今、北山中学（生徒数二十人）が、昭和六十三年度から学級編制上、複式化を余儀なくされる状況にあります。

昨年の十二月に北山小学校 P.T.A.進学問題協議会から提出された陳情書を受けて、町教育委員会でも検討を重ねてきました。

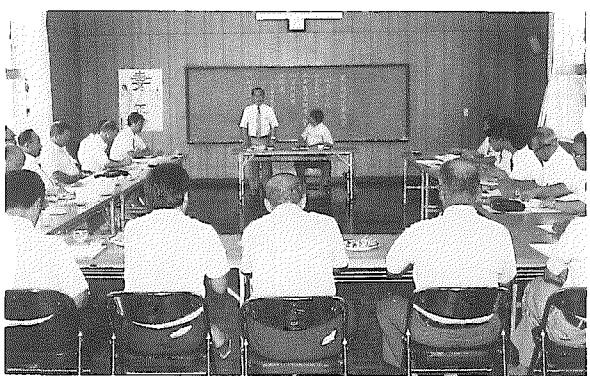
も新たに設置し、統合問題について審議を重ねてきています。八月二十日開催された第二回校区審議会では、町教育委員会から諮問内容の説明があり、昭和六十三年度に北山中学校を山田中学校へ統合（校区編成替え）することについて審議がなされました。

「統合することは、過疎に拍車をかける」「子供のこと

を優先して考えるべきだ」「地区民の意見を聞くべきだ」などの意見が出されました。

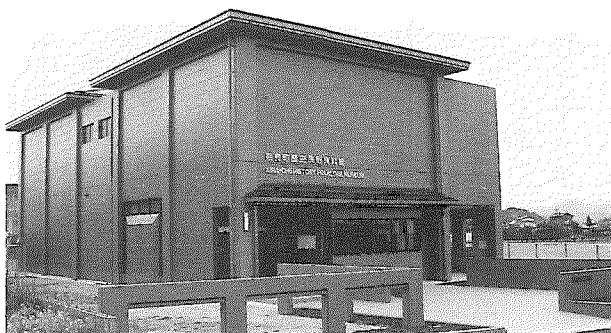
九月中に地区民の意見を集約し、十月には三回目の審議会を開催し、審議を重ねながら十二月までの間に答申することになりました。

地域や子供たちの将来のことを十分考え、円満な解決策をみんなで見いだしたいもので



さまざまな意見が出された校区審議会

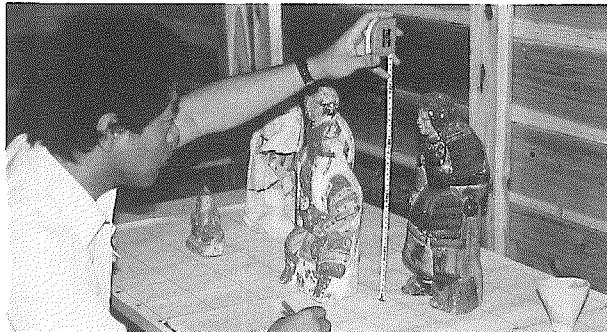
見直そうふるさと



今年の三月十日、中央公民館東側に完成した歴史民俗資料館の開館準備が、急ピッチで進められています。

通常の建造物は、完成と同時に開館するというのが常識ですが、重要な歴史的資料を後世に伝え、保存するという収蔵庫の性格を持っているため、館内は恒温恒湿でなければなりません。そのため、建物 자체を乾燥させる必要があり、現在開館に向けてその準備作業が進められています。

開館は、来年一月の予定。



歴史民俗資料館全景▶
収集資料を入念にチェック▼



かねてから青少年の健全育成にも取り組んでいる町婦人会連絡協議会（春山愛子会長）が、八月二十五日、見直そう郷土の歳時記と銘打つて、親子セミナーを開催しました。

会場には約六十組の親子が集まり、県立青少年研修センターの谷口孝志先生の「見直そうふるさと」と題した講話を熱心に聞き入っていました。

県地域婦人団体連絡協議会が行った地域婦人会の意識調査のアンケート結果も資料として出され、有意義なひとときを過ごしていました。



▲あいさつをする西野町長



▲お元気ですか、おじいちゃん



◀のど自慢No.1



▲リズミカルな
松居直美さん

▼ペイブ…？仲良し二人組



▲おじいちゃん、これ買ってエ～

第15回夏まつり

◀ 7月25日12：30～21：35 役場周辺・中央公民館

なぜか浮き浮きした気分。夏まつりの朝のことです。役場周辺の踊り連コースにはスピーカーからまつり気分の音楽が流れ、万国旗もリズムよく風に踊っていました。

まつりは、中央公民館大ホールでの老人招待歌謡ショーで幕あけ。会場には1,000人余りのお年寄りが詰め掛け、二葉百合子さんの歌謡浪曲「九段の母」に、あちこちで目頭を押える姿も…。

松原上のまむし太鼓でいよいよ踊り連もスタート。総勢1,800人の踊りの列は、コースからあふれんばかり。

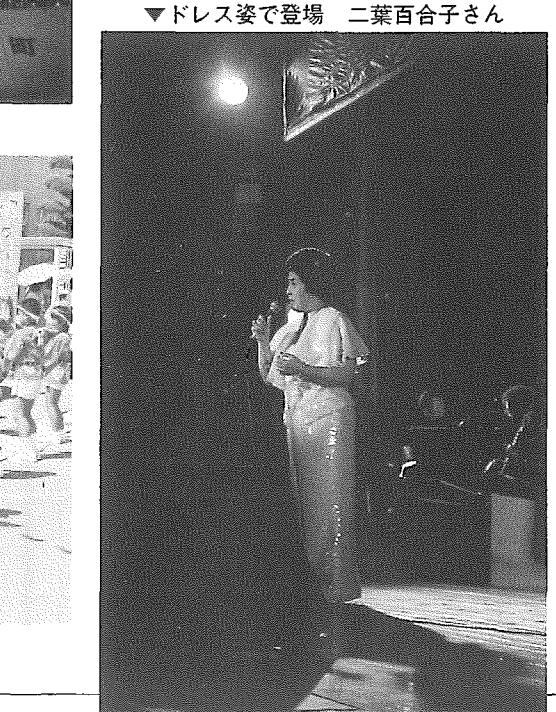
中央公民館での夜の部は、約35,000人の人出でにぎわい、のど自慢や松居直美さんの巧みなおしゃべりと歌に笑いと拍手…。フィナーレの花火は、夜空にひとりわざわざ大輪の花を咲かせました。



▲百万ドルのほほえみ“ミスあいら”



▲カラーガード隊



▼ドレス姿で登場 二葉百合子さん



▲人・人・人…会場いっぱいの…人・人・人

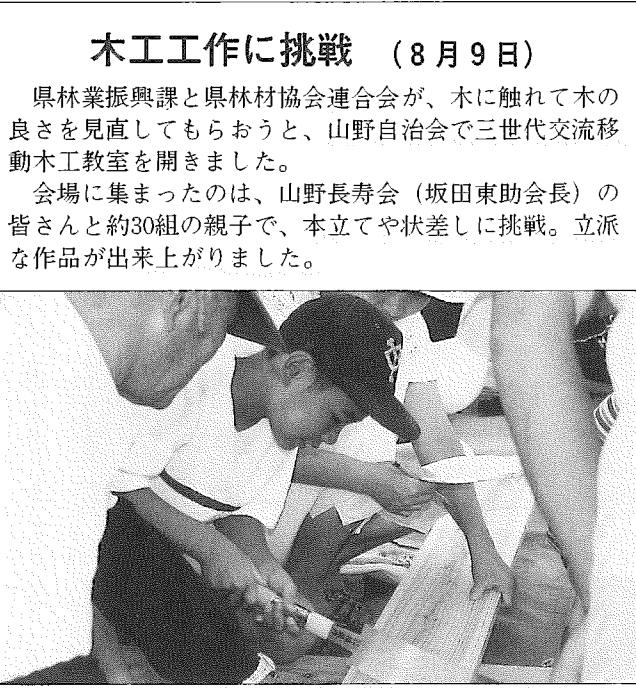


▲バチさばきも鮮やかなまむし太鼓



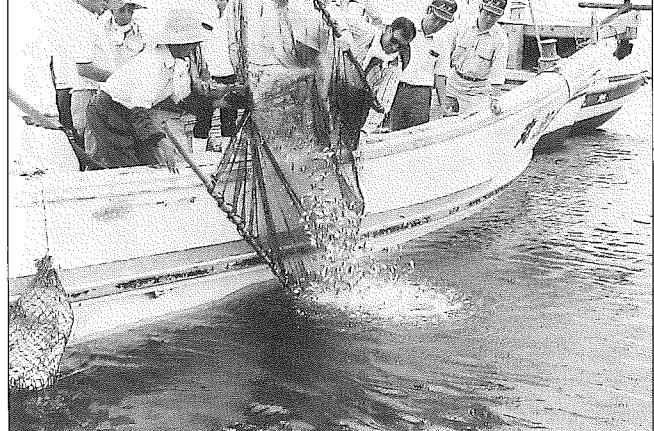
「不老閣」の地鎮祭 (7月31日)

豎野にある重富島津家の菩提寺・吉祥山紹隆寺が、120年ぶりに復興されることになり、曹洞宗大本山永平寺（福井県吉田郡永平寺町）から移設建立される不老閣の地鎮祭が行われました。来年3月までには、本山での姿が再現されます。



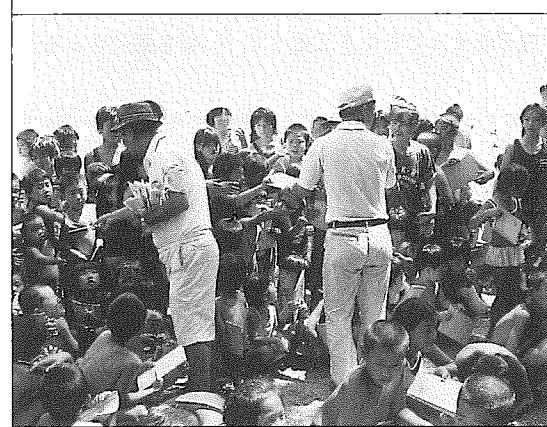
太陽族？大集合（8月16日）

町内外やお盆に帰郷した人たちでにぎわう重富海水浴場で、夏休み恒例の黒んぼ大会が行われました。参加した子どもたちは約250人。第1位には、大阪から重富に帰省中の松崎賢司君（小学校6年）が選ばれました。



鹿児島湾をマダイの宝庫に(8月4日)

鹿児島湾栽培協会が行う湾内マダイ100万尾放流事業の一環として、錦海漁協（春山鉄翁組合長）が、松原海岸の沖合いでマダイの稚魚75,000尾を放流しました。3割の25,000尾程度が成魚になるそうです。



屋台店豆腐一丁で酌くさせつ
藤高春風
新か鎌を畦ん草拂れいしつ
村野兵六
篠田藻光
薮拂れん母親あウンべを鎌め
上元義丸
下げつ
上手な字ん割いなすんなか祝
永野寛二
金
田辺長作
飲ん奴が座持つが良して課長
いなつ
父親が逝つ長男を横座い座ら
せつ
山口明男

長谷 正雄 浜田 フミニ

岩崎美智子 久永シヅエ

手花火に瞳かがやく幼顔
日の当る金魚鉢の影秋の色

露地奥は夕翳ふかし葦の花
鐵塔や迅き雲ゆく日の盛り

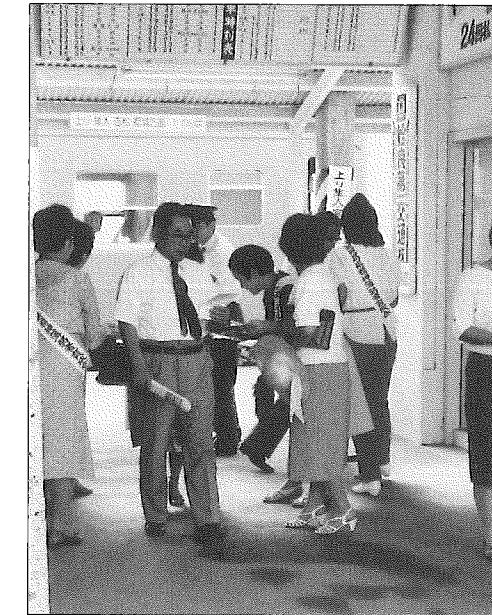
さつま狂句

学か無どん気嫌とい上手で課
長ひよつ泰奇 文男



『肉体美、を競い合う（8月27日）

現在、町内で約1,100頭の牛が飼育されています。この畜産の振興を図ろうと、町畜産品評会が中央公民館広場で行われました。肉用牛の部で池田良光さん（木津志）所有の「みゆき1号」が、肥育牛の部では竹中重文さん（岩崎）所有の牛がそれぞれ最優秀に、また、乾燥草の部では馬場義道さん（寺師）が1席に選ばされました。



精薄者愛護デー (9月8日)

精神薄弱者愛護月間の一環として、精神薄弱者愛護デーのキャラバン活動が展開されました。これは、「この日一日をこの子らのために」と町精神薄弱者育成会（中森正行会長）が実施したもので、街頭広報やリーフレットの配布など精神薄弱者愛護の気運を盛り上げていました。



スポーツ少年団空き缶拾い（9月6日）

町スポーツ少年団本部(川田正幸会長25団体)が、学校周辺の道路や公園などの空き缶拾いを実施しました。

これは、同本部が今年から独自に実施したもので、あいにくの空模様にもかかわらず、いつものチームワークを発揮し、清掃作業に汗を流していました。

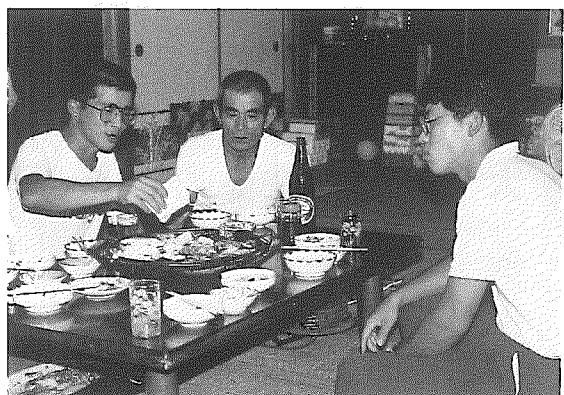
片手もぐ思いに米と替えし日
のめいせんの色ろう梅一樹
老鶯や風紋たゆる湖蒼し

The image consists of two parts. On the left, there is a vertical rectangular frame containing the Japanese characters '短歌' (Shankoku) written in a traditional calligraphic style. On the right, there is a drawing of a cylindrical vase filled with several blades of tall grass or reeds.

トピックス



開会式（溝辺町体育館）



遠慮をせんでたくさん食べて…（新名昭己さん宅）

農業の未来を語り合う

第12回県農村青少年夏の祭典

八月十八日から

二十日までの三日

間、「今、姶良路で流す汗を未来の夢へ」と銘打つて、第十二回鹿児島県農村青少年夏の祭典が、溝辺町体育館をメイン会場として、郡内の各市町で開催されました。

会場に集まつたのは、県内各市町村の若い農業後継者およそ四百人。開会式の後、地域紹介や若者の夕べ等が行われ、宿泊先となつている受け入れ農家へと散開しました。

本町での受け入れ農家のひ

とつである新名昭己さん（寺

師）宅へは、南種子町から参

加した大脇一敏さん（二十四

歳）が訪れました。

新名さんは、肉用・肥育牛を主に水稻の作付けもしてい

る畜産農家であり、大脇さんは、葉たばこと水稻を耕作す

る複合農家です。

二人は、経営内容こそ違

ますが、経営規模の拡大、設

備投資、嫁さん問題などその

悩みには共通点も多く、同じ

農業の未来を担う後継者とし

て、夜おそらくまで友情と連帯

を深めていました。

「秋の夜長」などと言うとおり、夜長は秋の季語です。春は日永（ひなが）

夏は短夜（たんや）
秋は夜長（よなが）
冬は短日（たんじつ）

という季語がよく使われま

す。でも、これを見ておかしいと思う方もいるでしょう。夏は夜が短く、冬は日が短いことは確かに、はつきりとした対称になつてい

るのはわかります。

しかし、春と秋は夜

と昼の長さがだいたい同じで、一概にど

ちらが長いとか短い

とかいえないからです。

第一、夜が最も長いのは冬至で、十二月二十二日ごろです。ではなぜ、秋の夜長かといふと、秋分の日（九月二十三日）を境に昼夜の長さが逆転するので、

それまでに比べて夜が長い

ように感じるためだろうとの説があります。たしかに、

春には日が長くなつたなどを感じるし、秋には日暮れが早くなつたなど感じるものです。

■歳時記■

長夜



十月は体力づくり強調月

間の月でもありますし、十月十日は目の愛護デーでもあります。栄養、運動と共に休養も大切です。

第一、夜が最も長いのは冬至で、十二月二十二日ごろです。ではなぜ、秋の夜長かといふと、秋分の日（九月二十三日）を境に昼夜の長さが逆転するので、それまでに比べて夜が長いように感じるためだろうとの説があります。たしかに、

おひさま

豆腐のつくね揚げ と梅ドリンク

村田春子さん(西ノ妻)



る間にか実年と呼ばれる年代になりましたが、きよ

うは婦人学級で習った手軽にできて子供からお年寄りまでようこんでもらえる豆腐のつやベツロールの酢のもの、氷で割つて飲む梅ドリンクを紹介します。(昆布のつくだ煮は消略します。)

豆腐のつくね揚げ

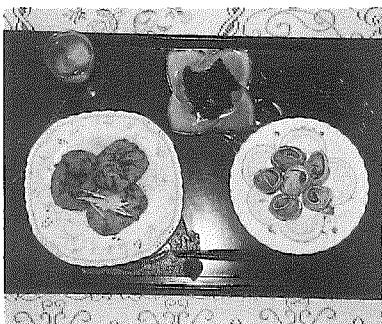
材料……豆腐2丁、大和芋80g、卵大1個、人参40g、しいたけ5枚、青のり少々、しょうが2片、大根作り方……①豆腐は重さ三

和芋をおろして卵と合わせる。

③人参したけは短めのせん切り。①と②と青のりを混ぜ丸めて中温の油で揚げ、だし汁をかけ大根おろしとしがを添える。

ハムと青じそキヤベツロール

材料……キヤベツ、ハム3枚、青じそ3枚、針しようが少々作り方……キヤベツは熱湯をくぐらせ、ハム、青じそと針しようがを包むように巻く。斜めに切り三杯酢で食べる。



肩こりや腰痛は

なぜ起ころのが体を動かしても動かせない社会——それが現代社会であると思います。

たとえばサラリーマンの仕事を考えてみてください。

デスクワークに連日の会議、ちょっとした連絡は電話で増え、移動には車やエレベーターを使う……。

このような静的な仕事が増えさせ、肩こりや腰痛などは肩こりや腰痛などを訴える人が増えま

自分で合った運動を長く続けよう

東京学芸大学助教授 宮崎義憲

肉を一種の緊張状態——輪ゴムでたとえて言えば、軽く引つ張ったままの状態を保つていてから起こる疲労です。

この状態を長く続

張していた筋肉は、運動によつてほぐしてやることがベストだからです。

慣らされるな

年齢や体力に見合った運動、栄養、休養の三つのバランスのとれた生活を日々

ばれず、筋肉の中にたまつてしまい。これが筋肉の疲れとなり、肩こりや首すじのこり、腰のだるさなどになつて現われるのであります。

このような状況を訴える人の中には、指圧やマッサージで疲労を解消している人を見かけます。しかし、それよりはむしろ、何か軽い運動をされたほうが、より効果があり、健康にもよいと思います。緊

張ることを肝に銘じて、意識的に体を使うようにすることが大事でしょう。

そのためには、現代は体を

車や機械の便利さに慣れさせることなく、動物として

の機能をどこかで使い続けていく——ということです。

このためには、現代は体を動かしても動かせない時代なんだということです。

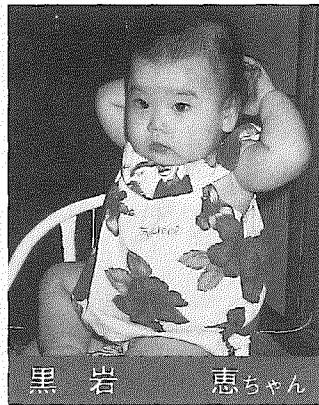


思ひ出の心

親から子供への贈りもの



川俣良太くん



黒岩恵ちゃん

川俣良次さん[の長男
いづみさん]

こんにちワ、良くんで～す。
心が豊かで大きく育つよう
に、お父さんとお母さんが
付けてくれた名前。お気に入
りです。

最近、つかまり立ちもでき
るようになったんだ。ボクが
部屋の中を動きまわると、心
配顔で追いかけてくるお母さ
ん。これからもよろしくね。

(昭和61年11月24日生まれ
森山)

黒岩優さん[の長女
京子さん]

よ～く見て、グラマーでし
ょう。生まれたときからまる
まるだったんだって。

今はお母さんのお仕事の関
係で保育園に行っているの。
みんなメグちゃんて呼ぶけど
魔法はできない。でもいろんな
こと覚えたんだヨ。お友だ
ちもいっぱいできたり、とつ
ても楽しいんだ……。

(昭和61年9月9日生まれ
姶良ニュータウン)

小雨が降っていました。
買い物かごを下げる親と娘が
話をしながら歩いていました。
母親は道路の中央にこぶし大
の石が落ちているのを見つけ
ると、「ちょっとこれ持つて
ね」と、娘にかごを手渡し、
石を道路のわきに移しました。

中学生のその娘は、母親の
さりげないその行為に、「私
も母のような大人になりたい
なと思いました」と、この時
の感想を作文の中で述べてい
ます。

最近の子供は、親の後ろ姿
を見て学ぶ機会が少なくなっ
ているように思いますが、そ
れでも子供は親のしぐさを見
逃さないものです。

私の友人でものぐさな彼は、
息子の姿を見てびっくり。
「くづく氣をつけなければと
思ったよ」と、私に話してく
れました。

障害者への理解を広げ、そ
の自立化をお手伝いしようと
思っていたNさんは、大変う
れしそうでした。

「ひまわり手話の会」を組織
したNさんという一人の主婦
がいます。そのNさんに、イ
ギリスへ留学している息子さ
んから手紙が届きました。「僕
はお母さんのように優しく、
そして地域社会にも目を向け
ることのできるような人と結
婚したいと思う」と書いてあ
るのを見て、Nさんは大変う
れしそうでした。

親から子供への最大の贈り
ものは、財産ではなく親の後
ろ姿ではないかと思います。

テレビのチャンネルを寝そべ
つたまま足で換えるのです。
扇風機のスイッチも足で…。

ある日彼は「一歳七ヶ月の
息子といつものように横にな
りながらテレビを見ていると、
小さな足をしきりに上げてチ
ヤンネルを換えようとしてい
る息子の姿を見てびっくり。

「くづく氣をつけなければと
思ったよ」と、私に話してく
れました。

眼鏡公正取引協議会では価
格表示のほかにフレーム等
の表示にも基準を設け、消費
者が不利益を受けることがな
いよう配慮しています。

眼鏡公正取引協議会では価
格表示のほかにフレーム等
は、眼鏡の公正マーケットに
マークが店頭にあるお店を選び
たいものです。

暮らしの中のマーケ



広がれ ミニユーティ



若々しいコーラスが聞
こえできます。“明るい
コーラスと和やかな仲間
づくり”がモットーのマ
リーゴールド（羽生満蔵
先生ほか三十四人）の皆
さんです。十月の合唱祭
へ向けて練習にも熱が入
り始めたところですが、
十周年を迎えた百人の大コ
ーラスを夢みながら頑張
つているところです。



県民手帳 予約受付中!!

麻薬・覚せい剤禦除運動
(10月1日～11月30日)

鹿児島県統計協会では、昭和六十三年版県民手帳の予約を受け付けています。手帳には鹿児島県の概要、全国及び県、市町村勢のほか、公共機関等の名簿などが収録されています。

● 大型判 (十五寸×九寸)

四百円

● 普通判 (十二寸×七寸)

二百五十円

となつており、行事予定表やメモ帳としても大変便利です。

現在、各自治会を通じて予約の取りまとめをしています。また、直接お申し込みの際は、県統計協会（〒892鹿児島市山下町一四一五〇）県庁統計課内（0992-268111内線2262）へ。なお、郵送希望者は送料が必要です。



読書に親しもう

「読書の秋」という言葉がありますが、新人類といわれる世代からは全く古きさのかも知れません。本を読むということは、人格形成上も大きなプラスになると言われています。

現在、中央公民館図書室には三万四千九百十五冊の蔵書があります。あなたも一冊ぐらいい読んでみませんか。借用手続きは簡単です。

住まいと街づくりシンポジウム

住まいは、食べて、寝るだけのものではなく、人間らしく生活するための人生のベースキヤンプです。

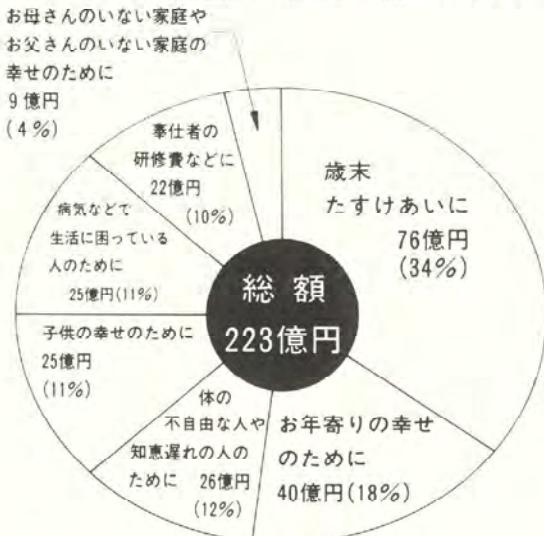
さて、今年は国際居住年です。県でも「うるおいとゆとりのある住まいづくり」を目指して、ウッドタウンプロジェクト、サンビレッジプロジェクト、H.O.P.E.計画等新たな施策を展開しています。そこで、「よりよい住まい、美しいふる里づくり」の実現を目指して「鹿児島の住まいと街づくりシンポジウム」を十月五日、市民文化ホールで開催します。

また、十月四日から六日は「国際居住年フェア」と題するイベントを開催するなど、連日、多彩な催しが繰り広げられます。

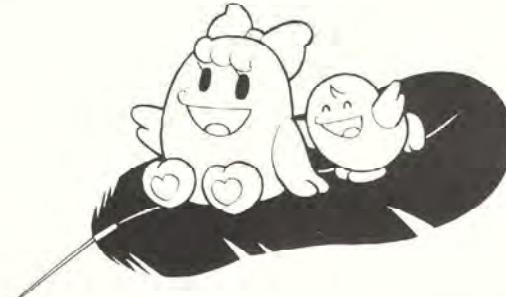
新鮮で、ユニークな企画に、あなたもぜひご参加ください。

わかつあう幸せ 赤い羽根共同募金

= 昨年の寄付金はこのように使われました =



赤い羽根共同募金



共同募金運動

10月1日～12月31日